

# 第78回県外植物観察会 名誉園長と歩く早春の京都府立植物園

〈開催日〉 2019年3月22日(金)  
 〈集合場所&時間〉 京都府立植物園 正門 10時  
 〈参加者〉 中西・中村・村山担当幹事以下 25名

少し肌寒い天候になり、連休の合間の平日ということで参加人数を心配したのですが、予想を越え25名の参加でした。松谷先生による総会の講演「植物からの不思議と謎のメッセージ」を踏まえたガイドはわかりやすく楽しい内容でした。

## 【正門に集合し、松谷名誉園長より府立植物園の歴史を聞き、観察会がスタート】

観察会、概略説明の風景

メインストリートとアイランドホビー

花壇の草花は、種から育成しているの株が大きい



コウヨウザン (漢字名が「広葉杉」葉の広い杉) 雄花と球果

コゴメイヌノフグリ 小石川植物園の名物



アカシアの咲く足元の地面に



アカシア3種 葉の形が違う



パールアカシア



ギンヨウアカシア

コベニイアカシア



スタジイ 葉裏が金色

枝が暴れる ユーカリ



園内にある同じブナ科のシリバカガシは秋に花が咲く



チリマツ 葉先刺々しい

ハリモミ 日本固有種



丁寧な刈り込みで見事樹形の カイツカイブキ

ツガの球果



## 【園内のヒマラヤスギ】 出会った園内あるヒマラヤスギの姿



倒木した ヒマラヤスギ



バラ園から見た2本の ヒマラヤスギ



正門横の樹齢100年以上のヒマラヤスギ

雄花



雌花



種子



【クスノキの並木・バラ園】 並木の左右に様々な草花や樹木を見ながら進む  
クスノキの並木道全景



雄性先熟の ヤツデ



雌性先熟のタイサンボクと葉裏のマエアカスカシノメイガ



花は葉が変化



自然樹形管理なので歩行者目線で観察可

根頭癌種苗に置かれた桜の根の展示



満開のミツマタ



サンシュユも満開



ダンコウバイ 雌花



植物園会館に置かれていた鉢植えのエキウム・カンデンディカンス



植物園の温室前に  
アフリカ大陸西海岸原産の  
エキウム・ウィルドプレッティが

タワーオブジェとして植栽されている  
赤いタワーは眼を奪う  
日本で初めて育成に成功した  
ポリネーターはハチ  
季節を変えて見に来たい

バラ園 正面の比叡山を借景に



美智子皇后が来園の時、松谷先生がご案内



濃いオレンジ色の花

アキノレの大樹



ニッケイとヤブニッケイ



嗅覚を使った観察

巻きひげも吸盤もないつる性植物



他の樹木の枝を引っ掛けたら絶対に離さな

カギカズラ

(鉤は托葉が変化)



【植物生態園へ】

繁殖戦略は匍匐枝 ツルコウジ



ゲンカイツツジ

常緑のサクラ属 バクチノキの木肌



ハチジョウキブシ

クロキ



オオカメノキ うさぎの耳



ツクバネ ネズに半寄生



ツノハシバミの雄花と雌花



木肌を傷つけるとサロメチールの匂い ミズメ



【感想】

松谷先生のガイドが講演内容思い起こさせたり、参加者の皆さんの質問も多く、充実した楽しい時間でした。あつという間に時間が過ぎて、生態園は足早の観察になってしまいました。是非、第2弾を企画したいと思います。

村山和夫